

# 医療福祉技術分科会

★福祉技術部会設立総会および第1回福祉技術シンポジウムは終了致しました

開催報告 (3ページ) も御覧下さい。

## 「工業技術連絡会議福祉技術部会設立総会」「第1回福祉技術シンポジウム」概要

- 開催期日
  - 平成11年10月28日(木)～29(金)
- 会場
  - 工業技術院筑波研究センター共用講堂 つくば市東1-1-4
- 幹事機関
  - 工業技術院機械技術研究所(産学官連携推進センター)
  - 工業技術院生命工学工業技術研究所(産学官連携推進センター)

## 日 程

### 第一日 10月28日(木)

#### I. 設立発起人会 12:00～13:00

- 場所: 生命工学工業技術研究所 第2本館2F 会議室
- 司会: 生命工学工業技術研究所産学官連携推進センター長 小林 晴己
- 1. 挨拶 工業技術院総務部地域技術課振興班長 高橋 和敬
- 2. 自己紹介
- 3. 経緯説明 生命工学工業技術研究所広報・産学官連携担当 中村 吉宏
- 4. 福祉技術部会の事業内容 機械技術研究所首席研究官 甲田 壽男
- 5. 総会進行案の説明 機械技術研究所産学官連携推進センター長 斉藤 敬三

#### II. 総 会 13:30～14:50

- 場所: 工業技術院筑波研究センターB地区 共用講堂2F 大会議室
- 司会: 機械技術研究所産学官連携推進センター長 斉藤敬三
- 1. 開会の辞
  - 発起人代表 機械技術研究所首席研究官 甲田 壽男
- 2. 来賓挨拶(各5分程度)
  - 機械・金属連合部会長 機械技術研究所長 大山 尚武
  - 生命工学連合部会長 生命工学工業技術研究所長 大箸 信一
  - 工業技術院地域技術課長 入澤 博
  - 中小企業庁指導部技術課長 林 明夫
- 3. 議 事(13:50～14:50)
  - 議長: 生命工学工業技術研究所人間環境システム部長 口ノ町 康夫
  - (1)審議事項
    - 1)福祉技術部会について
      - \*生命工学工業技術研究所広報・産学官連携担当 中村 吉宏
      - \*1.経緯・設立趣意書
      - \*2.運営要領
      - \*3.体制案
    - 2)事業計画について
      - \*機械技術研究所首席研究官 甲田 壽男
- 4. 閉会の辞
  - 大阪工業技術研究所有機機能材料部長 吉川 暹

#### 《 休 憩 》

#### III. 記念講演会(15:00～17:20)

- 場所: 工業技術院筑波研究センターB地区 共用講堂2F 大会議室
- (1) 特別講演I(15:00～16:00)
  - 司会: 福岡県工業技術センター副所長 橋野 賢
  - 講演題目: 福祉技術研究開発に望むこと -売れる福祉機器と売れない福祉機器-
    - 株式会社日本アビリティーズ社長 伊東 弘泰
- (2) 特別講演II(16:00～17:20)各テーマ20分
  - 司会: 機械技術研究所産学官連携推進センター長 斉藤敬三

1. 「通商産業省の福祉用具産業政策」 通商産業省 機械情報産業局 医療・福祉産業室長 荒木由希子
2. 「高齢社会に向けた人間中心のモノづくりの推進」 通商産業省 生活産業局 人間生活システム企画室長 千野 雅人
3. 「工業技術院における福祉機器研究開発プロジェクト」 通商産業省 工業技術院 医療福祉機器開発室長 鈴木 康久
4. 「福祉用具実用化開発助成事業」 新エネルギー・産業技術総合開発機構 医療福祉機器開発室長 小川健一郎
5. 事務連絡 生命工学工業技術研究所産学官連携推進センター長 小林 晴己

## 《 休 憩 》

### IV. 交流会（17：30～19：30）

- 場所：筑波研究センターB地区 厚生センター 別館B食堂（林の中）
  - 司会：生命工学工業技術研究所産学官連携推進センター長 小林 晴己
- |            |                       |       |
|------------|-----------------------|-------|
| 1. 開会挨拶    | 機械技術研究所首席研究官          | 甲田 壽男 |
| 2. 設立発起人挨拶 | 公設試代表                 |       |
| 3. 乾杯      | 公設試代表                 |       |
| 4. 閉会挨拶    | 電子技術総合研究所知能システム部主任研究官 | 小野 栄一 |

## 第二日 10月29日（金）

### 第1回福祉技術シンポジウム（9：00～15：20）

- 場所：工業技術院筑波研究センターB地区 共用講堂2F 大会議室
  - 各テーマ20分（発表17分討論3分）、○印：発表者
- 座長：多屋秀人（生命研）、本間敬子（機械研）（9：00～10：20）
    1. 福祉機器と産官学体制を利用した学生教育（9：00～9：20）
      - ○山羽和夫（日本福祉大学）
    2. 高齢社会に対応する商品開発 -エイジレス商品開発手法-（9：20～9：40）
      - ○中山 順、西村睦夫、平登美男（大阪府立産業デザイン研究センター）
    3. 共用品推進機構の発足の経緯とコンセプト（9：40～10：00）
      - ○三好 泉、星川安之、森川美和（財団法人 共用品推進機構）
    4. 共用品評価項目の検討（10：00～10：20）
      - ○三好 泉（東京都立産業技術研究所）
  - 座長：橋野 賢（福岡県工技センター）、横井孝志（生命研）（10：20～12：00）
    - 東京都健康福祉研究会50社の実例に見る開発の失敗例（10：20～10：40）
      - ○岡野 宏（東京都立産業技術研究所）
    - 北国型福祉社会における住生活環境整備に関する研究（10：40～11：00）
      - ○安河内義明（北海道立工業試験場）
    - 高齢者身体機能データベース（11：00～11：20）
      - ○吉岡 松太郎、鈴木 一重、狩屋 嘉弘、深澤 暢子（人間生活工学研究センター）
    - 高齢者用ガーデニング製品の開発（11：20～11：40）
      - ○大西人史（北海道立林産試験場）
    - 園芸療法用フラワーボットの開発（11：40～12：00）
      - ○小川健作、森本 健、水野金儀（愛知県工業技術センター）
  - 《 昼休み（12：00～13：00） 》
  - 座長：増田 正（生命研）、前田祐司（機械研）（13：00～15：20）
    - 高齢者用コミュニケーションボックスの運用実験結果（13：00～13：20）
      - ○藤沼良夫（茨城県工業技術センター）、中島勝也（茨城県商工労働部）、伊藤恵司（システム・プロダクト(株)）、矢ノ倉敏巳（㈱ジェネシス）
    - リングセンサーを用いた健康管理システムの開発（13：20～13：40）
      - ○中島勝己（新産業創造研究機構）
    - 視覚障害者向け製品の開発（13：40～14：00）
      - ○前川満良（石川県工業試験場）
    - 呼吸・体動評価のためのリアルタイム動画画像処理システムの開発（14：00～14：20）
      - ○松本佳昭、川村宗弘（山口県産業技術センター）
    - F E Sによる歩行再建のための歩行補助装置の開発（14：20～14：40）
      - 宮脇和人（秋田県工業技術センター）、巖見武裕（鶴岡高専）、大日方五郎、中山 淳（秋田大工学資源学部）、島田洋一（秋田大医学部）、堤 祥浩（秋田県太平療育園）、安藤 滋（秋田大医学部）、○沓澤 圭、西村信三（秋田県工業技術センター）
    - 介護作業分析への動作解析技術の応用（14：40～15：00）
      - ○棕代 弘（岡山県工業技術センター）、辻 善夫、土井英子、石本傳江、杉本幸枝（新見公立短期大学）
    - 人間動力系の研究 パワー発生のための最適運動軌跡（15：00～15：20）
      - ○岩月 徹（機械技術研究所）、吉崎博俊（芝浦工業大学）



# 医療福祉技術分科会

## 「工業技術連絡会議福祉技術部会設立総会」「第1回福祉技術シンポジウム」開催報告

1999年10月28・29日、設立総会及び第1回福祉技術シンポジウムが筑波研究センターの共用講堂で開催された。参加者は、国立研・通産省関係46名、公設試80名、大学7名、一般45名の計178名であった。設立総会では、事務局となる国立研の機械技術研究所（以下「機技研」）、生命工学工業技術研究所（以下「生命研」）から榎本、地神両次長の挨拶、部会設立の準備を支援して頂いた工業技術院地域技術課の高橋振興班長の挨拶、都合により出席頂けなかった中小企業庁林技術課長のメッセージ披露に引き続いて、部会設立の経過報告、運営要領案、体制案、当面の事業計画案の提案が行われ、承認された。

福祉技術部会長に機技研の甲田首席研究官、副部会長に生命研の口ノ町人間環境システム部長が選出され、幹事は設立発起人機関から専門分野の代表者を登録してもらうこととなった。事務局は機技研、生命研が担当することとなった。

総会後の記念講演会では、福祉機器メーカーの株式会社日本アビリティーズ社長 伊東弘泰氏から「福祉技術研究開発に望むこと-売れる福祉機器と売れない福祉機器-」と題して、実践に即した示唆に富んだ講演を頂いた。また通産省機械情報産業局医療・福祉機器産業室荒木室長、生活産業局人間生活システム企画室千野室長、工業技術院鈴木医療福祉機器技術企画官（当日欠席）及びNEDO医療福祉機器開発室栗原主任研究員から、本分野に関する政策紹介が行われた。

翌日は同会場で、福祉技術に携わる産学官の広範な研究開発現場から、高齢者、障害者向けの製品開発や解析評価技術など16件の事例発表が行われ、熱心な意見交換が行われた。